

授業概要 (シラバス)

専門学校日本ホテルスクール

■科目基本情報

科目番号	MS502	分類	講義科目
授業科目名	婚礼衣装	英文授業科目名	Wedding Costume Fundamentals
年度	2024年度	年次	夜間部 1年 プライダル科
開講学期	前期	授業の方法	講義
単位数	1単位	年間授業時間数	18.2時間
科目区分	専門科目	授業コマ数	13コマ
担当教員名	山本 浩子	実務経験あり	
経歴	プライダルコーディネーターとしてレストラン、専門式場にて勤務。その後、新規店の立上げやスタッフの教育を行ない、館長、副支配人として式場の運営を行う。2010年 BIA主催『The Master of Bridal Coordinatorコンテスト』優勝。1級プライダルコーディネーター技能士。		

■授業・科目情報

学習目標	プライダルコーディネーターとして仕事をする上では婚礼衣装の知識が不可欠であるため、必要な知識を学び、新郎新婦や親族にアドバイスができるようになる。到達目標は以下の通り。 (1) 衣装を見て種類、小物を説明することができる。 (2) 会場、結婚式のコンセプト、新郎新婦の好みを考慮して、状況にあった衣装を提案できる。 (3) 親族の衣装についての基本的な質問に答えることができる。		
教科書	「プライダルの装美と演出」財団法人日本ホテル教育センター「フォーマルウエア・ルールブック」一般社団法人日本フォーマル協会		
授業計画	回数	内容	
	1	オリエンテーション 授業の進め方と授業計画の確認	
	2	衣装選択の基準、新婦洋装衣装の概要①	
	3	新婦洋装衣装概要②着用シーンに応じたアドバイスを考えよう	
	4	衣装試着①	
	5	新婦和装の種類・小物	
	6	新郎和装衣装の概要	
	7	新郎洋装衣装の概要	
	8	衣装試着②	
	9	列席者が着用する衣装の種類、特徴、選び方	
	10	衣装の入手方法、そのメリットデメリット	
	11	インショップと路面店の特徴を調べよう	
	12	インショップと路面店の特徴を共有しよう	
	13	試験	
授業の進め方	プライダルコーディネーターとして仕事をする際には正しい衣装の知識も欠かせないものであるため、ペアワークやプレゼンテーションを通じて知識が定着するような授業を目指す。また、衣装には流行があるため、学生自身が積極的に情報を入手し、それを他の学生と共有できるようにワークショップを行う。		
試験の実施方法	前期1回 試験期間に設定し、形式は文書試験とする。		
成績評価方法	本校の規定に基づき、全科において共通評価基準にて算出する。 ①試験得点 = 50% (10ポイント) ②出席率 = 50% (10ポイント) 上記の2つの項目をそれぞれ10ポイント(合計20ポイント)に置き換えて、そのポイントに応じてA,B,C,D,F評定を決定する。 尚、前提基準として①試験全体平均点の50%未満。または②出席率の50%未満に該当する場合には「F」評価とするが、通年教科の後期学年末の評価については、前期および後期全体の状況をもって算出する。		
関連科目	『プライダル総論1』『プライダル総論2』『プライダルマーケティング & セールス』『プライダルマネジメント』		
参考書			
学生へのメッセージ	プライダルの仕事をする上では、衣装の知識も非常に重要です。学んだ知識をどのように使うかをみんなで考える授業にしたいと思っていますので、積極的な参加を期待します。		

以上